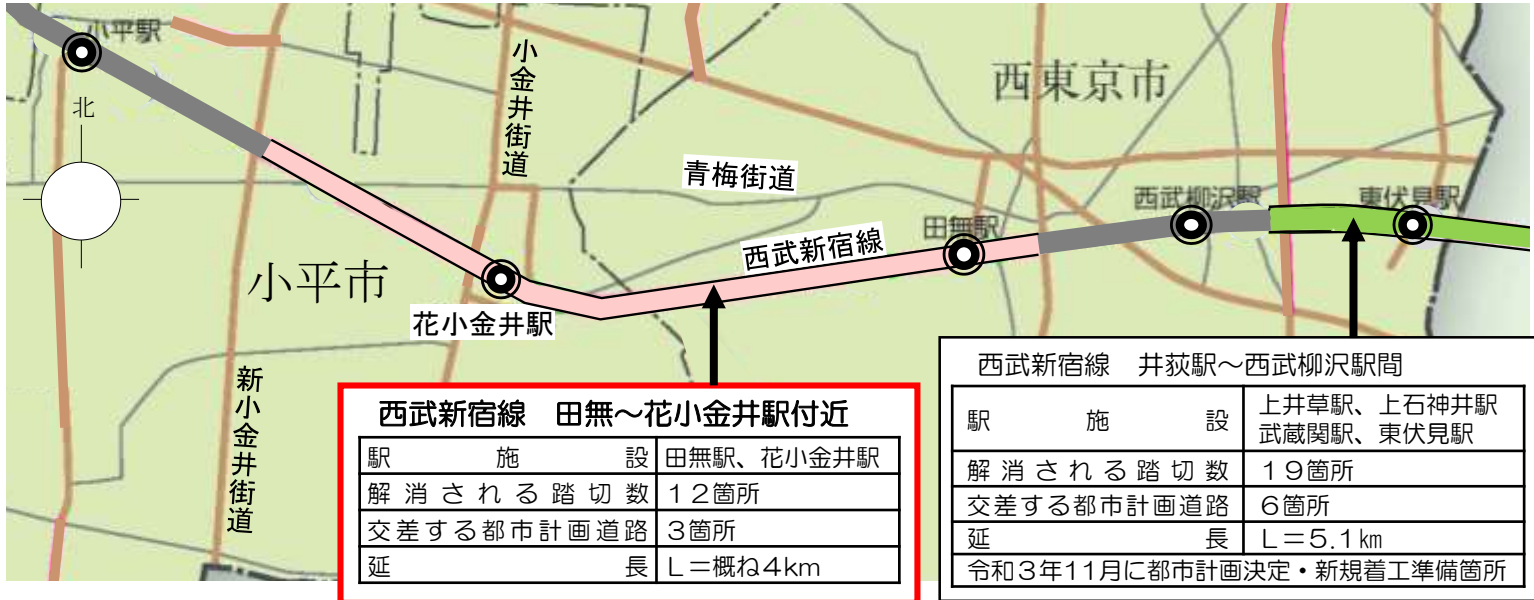


鉄道立体化の検討対象区間について

西武新宿線の田無～花小金井駅付近は、**鉄道立体化の検討対象区間**（※1）に抽出されています。

（※1）東京都の「踏切対策基本方針」において、「**鉄道立体化の可能性を関係者間で検討すべき**」とされた区間です。



小平市内の踏切の現状は？

当区間には西東京市内を含めて、計12箇所の踏切があり、市内には5箇所の踏切が存在しています。

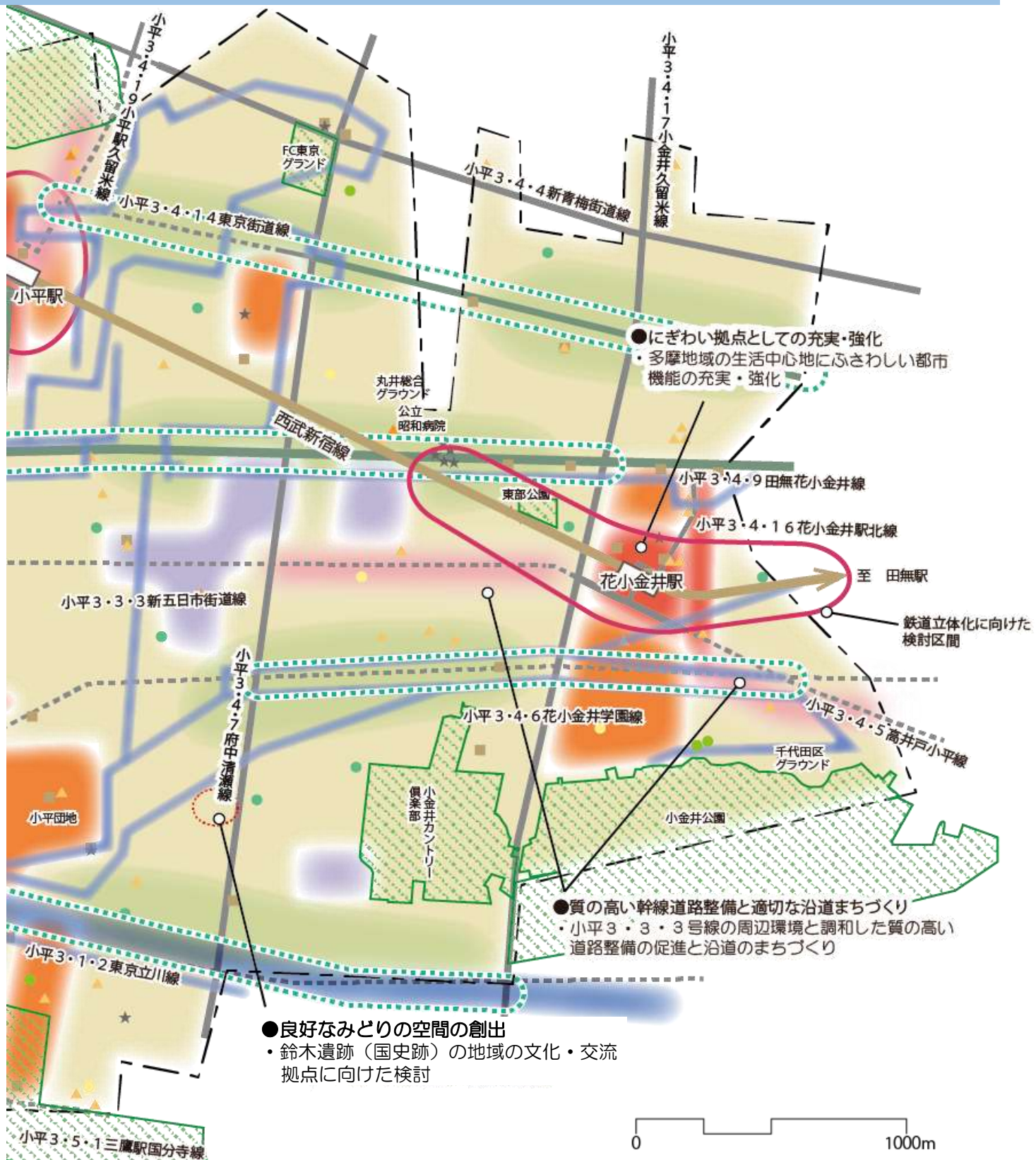
このうち、4箇所が「**重点踏切**（※2）」に抽出されています。

（※2）「重点踏切」抽出の視点は、①道路渋滞の発生、②地域の分断による生活の不便やまちづくりの遅れ、③踏切事故の危険性とし、以下の指標のいずれかを満たす踏切です。

- ①遮断時間が長い踏切
- ②自動車交通量が多い踏切
- ③道路ネットワークを形成する上で課題となる踏切
- ④歩行者及び自転車交通量が多い踏切
- ⑤乗降客数の多い駅の近くにある踏切
- ⑥防災面で課題となる踏切
- ⑦バス路線数が多い踏切
- ⑧横断長が長いなどの特性を持つ踏切
- ⑨鉄道利用者数が多い路線にある踏切

花小金井駅周辺地区のまちづくりの方針図

～小平市都市計画マスタープラン（平成28年度策定）より～



【凡例】			
低層住宅地	【教育機関】	水路(用水路)	【その他施設】
中層住宅地	小学校	沿道土地利用を検討する場所	文化施設
農住混在地	中学校	風致地区	その他公共施設(行政機関等)
商業地	大学・高校等	完成	用水路
新たなにぎわい拠点	【病院・福祉施設】	未完成	公園・緑地等
工業地	病院	未完成	
	福祉施設		

花小金井駅周辺地区のまちづくりの方針

～小平市都市計画マスタープラン（平成28年度策定）の要旨～

- 小平都市計画道路3・3・3号新五日市街道線の整備促進、道路と鉄道の立体化の実現等による南北の一体的なまちづくりを推進します。
- 幹線道路の整備や道路と鉄道の立体化による、花小金井駅を中心とした広域な道路交通ネットワークを形成します。
- 公共交通ネットワークの充実・強化により、小平グリーンロード、都立小金井公園、鈴木遺跡などを結ぶことによる利便性の向上や交流促進を進めます。
- 道路と鉄道の立体化による、病院への交通遮断の解消などの災害に強いまちづくりを推進します。

「一体的で総合的なまちづくり」を実現するためには…

- 都市計画道路の整備促進
- 道路と鉄道の立体化に向けた取組
などが重要